

中泊119

秋の火災予防運動始まる

10月15日(月)～21日(日)までの一週間、県内一斉に、

『火は見てる あなたが離れる その時を』

を統一標語に秋の火災予防運動が行われます。

これからは、日を追うごとに寒くなり、暖房器具を使用する機会が多く、火災が発生しやすい時季になります。

町民の皆さんが、火災について、もう一度防火意識を高め、火災のない安全で住み良い町でいられるように、火災予防運動を実施したいと思います。



平成19年10月号

住宅防火 いのちを守る

7つのポイント

【3つの習慣】

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

- お年寄や身体の不自由な人を守るために、となり近所の協力体制をつくる。

以上が住宅防火いのちを守る7つのポイントです。このことを踏まえて、火災予防運動期間中だけでなく、日頃の生活に役立ててください。

火事/救急/救助は
119番

五消本部病院照会
34-4999番

中里消防署
57-2370番

小泊消防署
64-2375番

職場体験学習

9月5日に中里中学校の生徒6名が、中里消防署に職場体験のため訪れました。

職場体験学習の目的は、生徒が職業に対する理解を深め、将来に役立てるために実施されているそうです。生徒たちは、車両点検・車両清掃・放水訓練など率先して仕事をこなし、一生懸命頑張っている姿がとても印象的でした。



防火衣着装

避難訓練

9月10日小泊幼稚園で、幼稚園隣の住宅から出火したという想定で避難訓練が行われました。訓練は、通報訓練から始まり、園内放送では先生方の誘導に従

い、普段にぎやかな園児たちは真剣な表情で避難していました。



指示に従い避難する園児たち

9月13日中里小学校で、授業中に資料室から火災が発生したという想定で避難訓練が行われ、生徒たちは素早く校舎外に避難していました。



指示に従い避難する生徒たち

9月13日グループホーム泉の里で、厨房から火災が発生したという想定で避難訓練が行われ、職員は入居者を安全に避難誘導していました。



避難誘導する職員

秋の山岳遭難防止

暑い夏も終わりをづけ、いよいよ秋のきのこ採りシーズンがやってきました。しかし秋の山は、日が暮れるのが早く、自分の居場所が分からなくなったり、蛇などに襲われる危険があるので、充分注意してください。

①山に入る時は

- ・できるだけ二人以上で入山する。
- ・家族に行き先や帰宅時間を知らせておく。
- ・食料、雨具、ライターなどを非常用に携帯する。(携帯電話も持って行けばなお良い)

②山に入ったら

- ・大きな木など目立つものを中心に行動する。
- ・日没が早いので、早めに下山する。

③万が一迷った時は

- ・歩き回らない。(日没後の行動は危険)
- ・ヘリコプターの音が聞こえたら、広い場所に出てタオルや衣類を振る。

④蛇に咬まれたら

- ・咬まれた部分よりも心臓に近い部分を血管が軽く浮き上がる程度に縛る。

※毒の有無が分からないときは、有毒と考える。